

日 時	令和6年10月23日(木)第5校時	指 導 者	松田 晶子
単 元 名	今に伝わる室町文化	学 年	第6学年1組 (男子4名、女子8名、計12名)

本単元で育成を目指す学校教育目標に関わる資質・能力 伝え合う力・言語力

【単元目標】

我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化や地図、年表などの資料で調べ、この頃の文化の特色を考え、表現することを通して、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたこと理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習してきたことを基に我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。

【(2) 我が国の歴史上の主な事象における指導事項】

ア(オ) 京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解すること。

ア(シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

【単元観】

本単元では、室町時代に生まれた文化について、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにする。特に、代表的な建造物については、足利義満は金閣を、足利義政は銀閣をそれぞれ建てたこと、それらは現在も保存されていること、銀閣の東求堂の書院造と言われる部屋のつくりには、ふすまや畳、違い棚などが作られていたこと、それらは現在の和風建築に生かされていることを理解する。また、代表的な絵画については、雪舟により我が国の水墨画を代表する作品が生み出されたこと、それらの中には国宝に指定され現在も保存されているものがあること、水墨画は現在も人々に親しまれていることなどが分かることである。

【児童観】

本学級の子供たちは、自由進度学習(単元内自由進度学習)をベースに学習してきた。思考ツールを用いた学習過程として、QNKS(課題・抜き出す・組み立て・説明)を中心に学習を進めてきた。4月当初、黒板をノートに写すことで満足し、自分で思考したり、工夫したりする姿はあまりみられなかった。また、一問一答式にはすぐ答えられても、「なぜ。」「どうして。」という問いに対して、自分なりの考えをもたず受動的に授業を受けている児童も多くいた。このことから、学習に取り組み、力を伸ばしていくためには、自分で考え表現する力に課題があると考えた。この課題を解決するために、教科書から必要な情報を選んだり、資料や年表から情報を読み取ったりする中で、課題解決を行い、自分で考え表現する力を伸ばす。

【指導観】

本単元では、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、文化財や地図、年表などの資料を調べ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解するために、児童と単元計画を共有し、児童一人ひとりが全3時間で単元の目標を達成できるよう計画させる。その際、単元の目標が達成できず、戸惑いながら学びを進める児童がいると考えられる。そうした児童の指導・支援のために、適宜チェックテストを設けて取り組ませることで、必要な知識を確実に定着させるようにする。

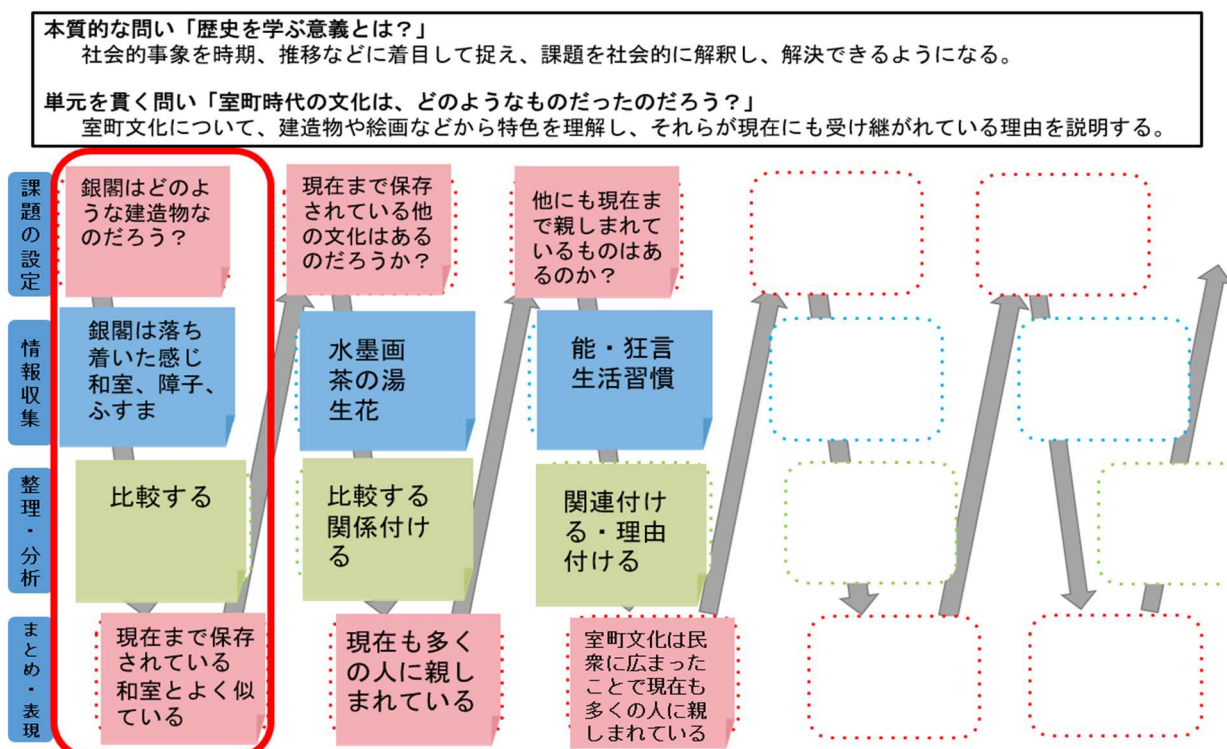
【観点別評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、文化財や地図、年表などの資料を調べ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。	人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画や、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している。	主体的に学習問題を追求・解決しようとし、学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

【本単元の評価規準（ルーブリック）】

A評価	室町時代につくられた建造物や絵画などから文化の特色について考え、現在の生活でも多くの人に受け継がれている理由をノートにまとめ、その理由に対して、お互いに質問し合い共有するなどしながら、適切に表現することができる。
B評価	室町時代につくられた建造物や絵画などから文化の特色について考え、現在の生活でも多くの人に受け継がれている理由をノートにまとめ、適切に表現することができる。

【児童の思考の流れ】



本時の学習

(1) 本時の目標

室町時代に造られた銀閣を調べ、現在の生活にも影響があることが理解できる。

(2) 本時の展開

時間	学習活動・内容・予想される子供の反応	手立て
	1 全体交流 ◎ 銀閣の様子を見たり、金閣と比べたりしながら、話し合う。 ・金閣は派手だけど、銀閣は落ち着いた感じ。 ・貴族の屋敷とも武士の屋敷とも雰囲気が違う。 ・銀閣の方は畳や襖がある。 ・銀閣は家の和室と似ている。 2 めあての確認 ◎ 計画を立ててから、今日の学習に取り組む。 金閣と銀閣の特徴を調べて、現在の生活とのつながりについて考えよう。 3 見通し・個人思考・対話 ◎ 教科書等からめあてを達成するために必要な情報を抜き出す。 ◎ 抜き出した情報をもとに、思考ツール等を用いて組み立てる。 ◎ 思考ツール等で表現したことを、ノートに説明を書く。 4 まとめ・振り返り ◎ チャットに投稿する。 ・銀閣は世界遺産で現在も多くの人々が観光に訪れている建物で、その様子は落ち着いた感じであるが、障子やふすまなど現在の和室ともよく似ている。 ◎ 今日の振り返りをする。 ・自分の家にも、室町時代からのものがあることに驚いた。 ・計画を立てたところまでできた。 ・室町時代の他の文化についても調べたい。	○写真を用いて、実際に金閣を見たことを想起させた上で、銀閣との違いを考えさせる。 ○本時の計画を立てさせ、シートに記入させる。 ○児童が学習形態を自由に選択し、思考することができるようになる。 ○ノートをチャットに投稿し交流させる。 ○足りない部分があれば加筆するよう促す。 ○スプレッドシートかノートに振り返りを記入させる。